

インターネットのCOOL & FOOLが大集合!

We Love Internet People



Illust:Sasaki Kazuyoshi

このコーナーは、インターネットピープルの皆さんと編集部を結ぶページです。皆さんの楽しいメールがこのコーナーを作ります。Let's Access!

Reader's Voice

「日本のアクセスポイントマップ」は他の雑誌にはないので、貴重だと思います。でも、この先どこまで増えるのでしょうか？**掲載しきれなくなる**のでは？
(tokuさん)

先日、マイクロソフトのホームページにアクセスしたところ、なにやらいつもと違うページが出てきました。「おー、マイクロソフトホームページのリニューアルか」と一瞬思いましたが、よくよく見てみると、「<http://www.microsoft.com/japan>」との表示。そのうち、正規のページに移動してくれました。なんとも親切だが、お節介だか、有効な広告なんだか分かりませんが、ちょっと微笑ましくもあり、悪意のある人なら何でもできてしまうなど、ちょっと怖くもなりました。ほかにもたくさんこんなページがあるのかな？
(山本太造さん)

倉コンでいい**カン**シだったコがメールアドレスだけを教えてください。これっていけるの？ それともいけてないの？
(雅人さん)

最近まわりではやっているのが、友人のホームページのBBSに外から書きこむこと。外からっていつでもモバイルでってわけじゃなくて、**電気屋さんとか公共施設に置いてあるパソコン**をインターネットにつなげて書きこむの。けっこう楽しいよん(^^)。
(jerryさん)

餅月あんこさんのページをもっと増やしてください！
(匿名希望)

オフ会なのだ。しかも遠くに住んでいる人と、中間地点で**2人きりで会う**のだ。さて、その後はどうなるか.....!?
(けいたさん)

パソコンを買うことにしました。昔はパソコンのインストラクターもしていたし、自分で機械も設置していた私。でも、いざ買うとなると全くの素人。自分が会社で使っているパソコンがどのぐらいの性能なのかさっぱりわからない。**パソコンを自分で買う**なんて、今まで考えたことがなかったから.....。結局パソコンに詳しい友人からアドバイスしてもらい、とりあえずモバイル用のノートパソコンを買うことにしました。当面はE-mailが使えなかったのが満足していますが、日々次々と訪れる疑問の山に、パソコン雑誌を乱読しています。それでも解決できない問題は、みんなどうしているのでしょうか？ とにかく私のモバイル生活は始まったばかり！ 頑張ります。
(NTさん)

濃い。読めば読むほど**濃い**。
(ケンさん)

結婚してタイに海外赴任した友人から突然メールが届いた。びっくりしつつ喜びつつ、ふとメールアドレスを見たら、**ダンナと友人の名前をうまく組み合わせていた**.....
いいなあ。
(ワコさん)

チャットソフトやメールソフトって、ウィンドウズ版しかリリースしないものが多くて、マックユーザーの私はなんか淋しいです。そんなご時世に、ウィンドウズもマックもおんなじ機能を提供してくれる**ポストペットの存在は心強い**です。新バージョンも楽しみ~!
(モモママさん)

今月の餅月あんこさんの「ポストペットデイズ」は、新バージョン情報が満載ですよ。
(編集部)

from Editor
あなたが最近感じたことや思ったことをメールしてください。詳しくは375ページを!



テキストで表現する 五七五の調べ

あなたのインターネットにまつわる思いを 川柳で表現してください。

第九回



上役は
メールでくれと
口で言い
オノノスでよへある光景ですなあ。
(翔吾パパさん)

ひと月も
メール転送
オフのまま
なんだかメールが少ないなと思っていたら、無料メール転送サービスで、間違って転送一時停止の設定にしたまま、1か月も気がついていなかった……。
(Koukiちゃん)

ポータルで
大阪人が
もうけたる！
単なる語呂合わせ
(スナック)

インターネットを利用中、「なぜ!?!」「これは?」と思う出来事にぶちあたったことはありませんか? 読者の皆さんが体験した、そんな不思議な出来事をご紹介します。

怪? 奇? !?! インターネット 不思議現象

摩訶不思議と言うほどのことでもないですが…。ノートンシリーズでおなじみの、シマンテック社の製品には、しきりとビーター・ノートン氏の名前が出てきますが、「あのソフトのバグケージの人がビーター・ノートン氏なんですか?」と、アメリカのシマンテック社にもちろん英語で「メールを出したことがあります。その返事はなんと「さあ、どうでしょう?」でした。とぼけているのかジョークなのか、真実は、はてさて?」
(関根政実さん)

身に覚えはない、つもりなんだけどなあ……?」
(Kestちゃん)

あるホームページにいったら、画面が延々と横スクロールされて、その後自動的に強制終了と再起動されてしまった……。再びいったらやはり再起動だった。3度目に行ったもやはり再起動だった……。もういいかない。
(トシちゃん)

自分はメールアドレスを4つ持っていて、それぞれ使い分けていますが、そのなかの、あんまり使っていないアドレスに限って、怪しいDMがしょっちゅう届きます。内容は必ずH系、アタルトオンリーのもので

某巨大商用オンラインサービスを初めて使ったときのことです。勝手にがわからなくて、いろんなところをクリックしていたら、たまたま英語のチャットルームに紛れ込んでしまいました。何の話題を扱っているのか、さっぱりわからなかったのですが、さっさと出てしまったのですが、チャットルームに入った瞬間、英文スパムメールがいきなり10通ほどやってきました。チャットルームの入り口で、誰かがアドレスを常にチェックしているんでしょうか? なんだか不気味です。その後、スパムメールの発信者のアドレスはアクセス拒否になるように設定しましたが。
(メイちゃん)

編集部より
あなたが経験したインターネットでの不思議なできごとや怖い経験を、ぜひ教えてください。詳しくは375ページを!

私の ホームページ 自慢!

あなたの自慢のホームページを紹介します。どれも作者の自信作です。とくにご覧あれ!

シックハウス症候群について知るにはここ!

「住まいの衛生ホームページ」

URL <http://www.ylw.mmtr.or.jp/~noryuasa/>

保健所の環境衛生監視員が、ダニ、カビ、エアコン、ホルムアルデヒドなど健康的な住まい方をするための情報を満載で提供しています。化学物質過敏症、シックハウス症候群の資料もあります。

(noryuasaさん)

オンライン小説の世界を堪能しよう

「ノベルステーション」

URL <http://www.ohba.co.jp/novel/>

短編から長編まで、投稿小説を含めると400編を超える小説を無料で読むことができます。参加作者数も150名を超え、オンライン小説の新しいカタチを模索しているページです。1人でも多くの方に小説を読んでもらうために、全作品圧縮ファイルのダウンロードも可能です。さらに投稿企画として、舞台設定を統一した多作者による小説執筆コーナーも立ち上がり、割とマイナーで地味な小説分野を活気づけたいと考えていますので、ぜひともよろしくお願いたします。

(TAKIONさん)



リー魂が熱い

「STAY COOL!」

URL <http://www.ic-net.or.jp/home/tetsuro/>

闘神ブルース・リー、大スターでもあり武道家でもあった彼のすべてに迫る! 主演作品はもちろんのこと人間ブルース・リー、武道家ブルース・リーにも大きくスポットを当てています。彼の創始したJKD紹介や、主演作詳細とランキング、アチャット、JUNFANクラブ掲示板、最新情報などがあります。あなたも是非、猛龍伝説に触れてみませんか? (哲さん)



些細なことほど気になる?

「気になる調査隊」

URL <http://ha2.seikyoku.ne.jp/home/jiji/>

とても些細なことをエラクまじめに調査をするバーチャル調査のページです。広島に昔からあるが、マイナーなお好み焼き用ソース「カーブソースって何?」や「カレーライスに卵を入れるか?」の調査、みなさまから頂いている投稿を掲載したり。最近では「賞味期限と消費期限」の調査を開始しました。また、パソコン関連のリンク集(230件以上)や雑誌片手にマウスでURLを入力できるアプレットなどを載せています。(大ちゃんさん)

タイを120%楽しむ!

「暁のゲストハウス」

URL <http://www.alles.or.jp/~dik/>

元タイ留学生 & ツアコンの作者による、タイ旅行を120%楽しむ為のアドバイス集です。特に「タイの錠」は旅行者必見! アットホームな雰囲気でお待ちしております^-^。

(Mika-rinさん)



銅像を見つめると……

「銅像批評」

URL <http://village.infoweb.ne.jp/~fwiw0328/>

ふだん何気なく立っている銅像にスポットを当ててみました。銅像を芸術作品というよりは、もっと気楽に楽しめないかなと、銅像をどうぞ、という感じです……。

(リュウスケルトンさん)

紙と一口に言うけど、こんなに違いがあるぞ

「紙名手配」

URL <http://web.kyoto-inet.or.jp/people/umehara/>

特殊紙、ファンシーペーパー、ファインペーパーを名前や特徴から探し出すことができます。探し出した紙の名前の由来や類似品、見本帳ナンバーなどの情報を提供しています。(梅原義弘さん)



from Editor このコーナーで自慢のホームページを紹介したい方は、ページタイトルとURLに紹介文を添えて、編集部までメールしてください。紹介文に込められたあなたの熱意がアクセス増加につながります。詳しくは375ページを!

目の疲れが気になる方に

「眼科相談室」

URL <http://www.2u.biglobe.ne.jp/~Ophthal/>

眼に関するなんでも相談室です。眼の病気・検査・治療・メガネ・コンタクトなど、眼科に関係することは専門の担当者がお答えします。糖尿病など眼に関係する内科のことでも相談可能。浜松労災病院に關係する人々が主に担当しています。眼科のホームページは数多くありますが、ほかとは異なり、広告的なものは一切ありません。個人的な質問はフォームメールを用いて、掲示板では匿名でのご意見・ご批判も聞きできればと思います。「人工無能」を利用させていただき、「ロボット眼医者さん」も作ってみました。診断・治療方針まで可能な「眼医者さん」を目指しています(無理かしら……)。一度、訪れてみてくださいね。(若宮俊司さん)

岡山の自然に触れよう

「ヴェジタブルなページ」

URL <http://ww3.tiki.ne.jp/~flower/>

四季折々の自家栽培野菜(大根、人参、里芋、ねぎ)、田畑の花、自然林、田舎の暮らし、旅の話など岡山県北発信の情報を楽しんで下さい。ヴェジタブルでエコロジーなページです。(yokoさん)

このドメイン、どこの国のかわかる?

「Netの中の途上国」

URL <http://web.kyoto-inet.or.jp/people/tab6433/DXing/DXing1.html>

'96年から毎年1回「Netの中の途上国」という企画ページを作っています。jpとかukとかで終わるURLはもう見飽きた! もっとマイナーな国のページはないものかと思って、Yahoo!からかき集めたリンク集です。3年めの今年は58か国の途上国を掲載しました。カントリーコードを見ながら覗いてみてください。おすすめは「.bt」です。(田淵篤さん)

5月号の記事を読んで、 配線導入を決意した人が現れた!



千秋楽 未来の我が家?

えてみると家庭内の情報は実に多様です。テレビ、ラジオ、CATVの放送系、電話やインターネットなどの通信系、インターホンの連絡経路、ビデオやDVDの映像ライブラリー、蔵書や日記・手紙などのドキュメント情報、料理レ

シビなどのノウハウ……。思いつくだけでもこんなに出できます。これらの情報があと2、3年もしたら、きっとこんなふうになる。このなかで登場するテレビ電話はすでに使い始めています。会社と我が家に置いてあり、前述のようなやり取りにも使いますが、面白いのは同時に書き込みができるホワイトボードです。会話しながら子供と共同作業で絵を仕上げるなんてことができます。ファイル転送もできるので、会話に出てきた写真をその場で送ったり、ライブカメラにもなるので、留守の我が家を会社から覗いたり

5か月にわたった我が家の情報化配線の話も今回が最終回。毎回読んで頂いた皆様、本当にありがとうございました。最終回は将来の家庭内情報化の展望を自分なりに書いてみます。

“どの部屋にいても同様に情報が手に入られること”、こんな考えで始めた我が家の情報化配線でしたが、やはりインターネット接続が話題の中心になりました。でも、考

えてみると家庭内の情報は実に多様です。テレビ、ラジオ、CATVの放送系、電話やインターネットなどの通信系、インターホンの連絡経路、ビデオやDVDの映像ライブラリー、蔵書や日記・手紙などのドキュメント情報、料理レ

シビなどのノウハウ……。思いつくだけでもこんなに出できます。これらの情報があと2、3年もしたら、きっとこんなふうになる。このなかで登場するテレビ電話はすでに使い始めています。会社と我が家に置いてあり、前述のようなやり取りにも使いますが、面白いのは同時に書き込みができるホワイトボードです。会話しながら子供と共同作業で絵を仕上げるなんてことができます。ファイル転送もできるので、会話に出てきた写真をその場で送ったり、ライブカメラにもなるので、留守の我が家を会社から覗いたり



アルプス電気の「ビューフォニカ」。SOHO化を推進できる、こんなツールが増えてほしいものです。

してみました。

最後に、執筆にあたりご協力いただいた以下の皆様に感謝いたします。住宅情報化推進協議会、日本ケーブルテレビ連盟、東急ケーブルテレビジョン、トヨタホーム/トヨタホームテクノ。ちなみに今月号240ページのCATV住宅は我が家です。ご参考に!

いりえまこと 銀座の広告代理店に勤務する44歳。ビデオ・パソコン・キャンプ・家族をこよなく愛するごく普通のオヤジ。
E-mail mkirie@dd.catv.ne.jp

編集部からのお知らせ

AFTERCARE

11月号

「INTERNET YELLOW PAGES」P369の「インターコラボレーション・ネット」の紹介文に誤りがありました。
誤：インターコラボレーションネット
正：インターコラボレーション・ネット
誤：会員の企業が検索して審査を行い、採用されると商品と1000円分の商品券が送られる。
正：インターコラボレーション・ネットが審査を行い、採用されると1000円分の商品券が送られる。

「COOL LOGIC」P274の文中に誤りがありました。
誤：TCI
正：CTI

以上、お詫びして訂正いたします。

アンケートにご協力を

読者の皆さまの意見を誌面に反映させるためにアンケートを行っています。アンケートの回答には、次の2通りの方法があります。

① インターネットマガジンのホームページ
ホームページからアンケートの入力できるようになりました。下記URLから、「読者アンケート」の項目をクリックして、アンケートページから答えていただくという形式になります。そのほかのコーナーも新しくなっていますので、この機会にぜひご覧ください。

URL <http://internet.impress.co.jp/>

② はがき
本誌に添付されているアンケートはがきに回答を記入して郵便ポストに投函してください。切手を貼る必要はありません。

アンケートにご協力いただいた方の中から、毎月抽選で5名様にインターネットマガジン特製折りたたみ傘を、5名様に1,000円分の全国共通図書券をプレゼントします。ご協力をお願いします。



あの人

話題のホームページの作者はどんな人?

会いたい!

INTERVIEW

神社に設置してある「こま犬」。知らない人はいないだろうけど、しげしげと眺めたことのある人は少ないはず。こま犬とひとことで言っても年代も形もさまざまだが、そのこま犬を神社に行くたびに観察して写真に撮っている人が増えているという。そのきっかけを作ったのが、多田正さんの「日本全国こま犬ライブラリ」だ。インターネットに「こま犬」をテーマにしたページはけっこうあるが、開設以来3年を数える多田さんのページはおそらく世界最古。このページに影響されてこま犬のページを開いた人も多い。その元祖、多田さんにこま犬とホームページについてお話をうかがった。



作者の多田 正さん。普段は電機メーカーに勤務されている。

こま犬のページはどんなきっかけで始めたんですか？

コンピュータのプログラマーという仕事柄、インターネットに興味を持つのは早かったので、始めてすぐページも作ったんです。最初はいわゆる昔からある個人のホームページで、自己紹介と趣味のページがちょこちょこあっただけで、メインコンテンツがあるとは思っていません。それで以前から旅行に行くとかミさんが神社に寄りたがるんで、暇つぶしにこま犬の写真を撮っていたんですけど、これをネタにやってみようか、これからは神社には行くだろうから、集まるに違いないと思ったんです。そんな時期に金沢に旅行して、金沢のこま犬はいっばう変わっ

たのことが多いことがわかり、最初はそのへんから始めたんです。

最初は、個人ページの一部分だったんですね。

実は裏話があって、ちょうど知り合いが会社で勝ち抜きホームページバトルみたいなのを企画した時で、サクラで参加していたんです。そのときに、こま犬のページだけ独立させて作ったんですね。今よりもフアニーで背景がピンクのページでした。友達は「こま犬みたいなマイナーなネタは勝ち残れない」とか言っていたんですけど、けっこう長持ちして、アクセスランキングでトップにはなれなかったけど、2位や3位には必ず留まっていたんです。「けっこう見てもらえるじゃん」と思って、自分のページのほうも今の形のようにしたという。これはその先の話があって、こま犬のページをマイナーだと言っていた友達が、別の企画で円丈師匠のこま犬のページを作った。最初は

「こんなマイナーなページ……」と言っていたんですけどね(笑)

「各地のこま犬写真を撮ってくれる駐在員、旅行先で見つけたこま犬を撮ってくれて特派員を募集中」とうたっていますが、駐在員や特派員はどのくらいいますか？

数えてはいないんですけど、コンスタントに写真を送って下さる人は10人くらいでしょうか。外国のこま犬を突然送ってきてくれたりするのがあります。「韓国のこま犬様生物」は掲載したんですけど、まだ掲載していないんですが、台湾に変わったのがあると送ってきてくれた人もいます。そろそろ送っていただいた写真が相当たまっているので、更新しないとは思っています。

「全国こま犬ライブラリ」のようなページは、普通は全部自分で集めたコレクションを公開する形が多いと思います。他の人の協力をあおぐのはどんなところから思いついたんですか？

コレクターのページって自分のコレクションを自慢げに語るパターンが多いじゃないですか。それはいやなので、いろんな人から情報をもらうようにしたいと思ったんです。インターネットが面白いのは、自分の深い世界を発信するだけじゃなくて、コミュニティーとして、みんなで作っていくという楽しみがあるじゃないですか。どちらかというとそっちを目指したいんです。昔から草の根BBSをやっていたせいかもしれません。もちろん、自分1人で全県回るのは無理で、人の力に頼ったほうが楽チンだというのはありますが、インターネットのベースにあるのはコミュニケーションだと思いますから。一生かかっても、日本中の神社を回るのは絶対に不可能ですけど、人の力を借りれば可能になりますからね。

こま犬の撮影はデジタルカメラですか？

最初から全部デジカメです。最初は初代QV-10で、今はミノルタのDimageVを使っています。こま犬は見上げるような高い位置にあるこ



いちばんポピュラー（多田さんいわく「面白みがない」という「昭和型」のこま犬と一緒に。

とが多いので、見下ろす形で撮れるようなカメラがいいんですけど、そういうのに向いているカメラはなかなかないですね。

旅行するときは、どんなこま犬があるか調べて行くんですか？

特に調べないですね。ただ、地図を見て、神社が多いからこのへんは良さそうだという見方はします。最近は仲間内でバイクでツーリングに行ったりしても（多田さんは、スーパーカブでツーリングをする人のた

めのページ「スーパーカブツーリスト」も開いている）僕が「別にいい」と言っても、途中で神社があるとみんなが寄ってくれたりします（笑）。そういうところで、めっけものがあることもありますね。でも、写真に撮って残しておきたいというこま犬に出会える確率は2割くらいですね。3割超えることはないと思います。

人気のあるページは、毎日のように更新していたりしますが、多田さんの場合はわりとのんびりしてますよね。

のんびりやろうと思って、あんまりあせていないんです。更新も気が向いたらやる感じです。円丈師匠のページはプロバイダーの企画として始まったので、最近は更新がない。ああいうふうには最初だけわーっと盛り上げて、ばたっと更新なくなったり、ページそのものがなくなったりというふうにはしたくないですね。細々とでもいいから、継続していきたい。実際には、最低月1回は更新したいと思ってますけど、あんまりそういうプレッシャーはかけないようにしています。写真を送ってくださっている特派員のみなさんには悪いんですけど（笑）。でも、実際、写真を送ってくれる方も、やっているうちに自然とペースが落ちていくようです。こま犬にはスローペースが合っているような気がしています。あえて盛り上げがらずにやっていくのが長続きさせる秘訣だと思います。更新が遅い言

い訳をしているだけかもしれないですけど（笑）。

< Interview & Text by 鈴木康之 >

URL <http://www.asahi-net.or.jp/~hh5y-szk/>



「日本全国こま犬ライブラリ」

URL <http://www.bekkoame.or.jp/~sho/komainu/>

投稿

このコーナーは読者の皆さんからの投稿で成り立っています。

大募集!

ぜひ! あなたのメールアドレス帳に『インターネットマガジン 投稿 (ip-box@impress.co.jp)』を登録してね!

「インターネット川柳大会」

インターネットについての出来事や意見を、粋な川柳に変身させてください。ぴりっと風刺の効いた作品をお待ちしています。

「インターネット大奮戦!」

TAの設定で四苦八苦、FTPのやりかたがわからなくて悪戦苦闘……など、インターネットにまつわる諸々の苦勞したこと、試行錯誤したことをレポートしてください。あなたも身に覚えがあるはずだ!

このほかにも「私のホームページ自慢」「Reader's Voice」「インターネットの不思議現象」、本誌の感想、新企画案など、身の回りで行ったインターネットにまつわることやアイデアを、どんどんメールでお送りください。なお、投稿の際はお名前（ペンネームも可）、ご住所も明記してください。インターネットマガジンのホームページ（URL <http://internet.impress.co.jp/>）からも投稿できるようになりました。

特製グッズが変わりました!

掲載された方にはインターネットマガジン特製折りたたみ傘をお贈りします。色よし、柄よし、携帯してよしのスグレモノです。どしどし投稿お待ちしております!
(注: 「私のホームページ自慢」の投稿掲載は除きます)



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp